

建設部の方針書

部 名	建設部
部長名	山本 信夫

1. 部の使命(ありたい姿)

安全で魅力的な社会インフラの整備を推進するとともに、既存インフラ施設の適切な維持管理と補修整備を行うことにより、住み続けたいと思えるまちづくりを目指します	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-1:雪国の快適な暮らしの実現 5-2:快適な移動空間の実現 5-4:地域拠点整備による市街地の活性化 5-6:市民がくつろげる公共空間の整備

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化する既存インフラ施設への計画的な補修・改修と改良整備への取り組み ○ 人口減少・高齢化社会においても持続可能で魅力的なまちづくりに向けた取り組み ○ 大雪や大雨などの自然災害にも簡単にはくじけない安全なまちづくりに向けた取り組み ○ 住み続けたいくなる住まいと暮らしづくりに向けた取り組み
--

3. 今年度の『スローガン』

安全安心で魅力的、持続可能な社会インフラの整備と維持管理のために力を尽くそう！

4. 今年度の方針

<p>(1) 安全安心で持続可能なインフラ施設を構築するため、計画的な補修整備と維持管理を行う</p> <p>(2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくりを推進する</p> <p>(3) 住宅の質的向上を図る取り組みを推進し、住み続けたいくなる住環境整備を促進する</p>

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全安心で持続可能なインフラ施設を構築するため、計画的な補修整備と維持管理を行う
	取組内容	◇既存インフラの適正な点検・調査及び計画的な補修整備による安全性・信頼性の確保 ◇冬期間における安全で安心な市民生活の確保を図るための雪対策の充実 ◇市に関連するインフラ事業の早期実現を促進するための各同盟会・要望活動等の強化
(2)	実現したい成果	人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくりを推進する
	取組内容	◇魅力あるまちづくりに向けた都市再生整備計画事業の推進と、うるおいのあるまちなみ形成 ◇持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進 ◇まちなか居住の促進に向けた横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の着実な推進
(3)	実現したい成果	住宅の質的向上を図る取り組みを推進し、住み続けたいくなる住環境整備を促進する
	取組内容	◇人口減少の緩和に向けた安全安心で快適な住環境対策の促進 ◇市有建築物の適切な維持管理・営繕工事等の実施 ◇住生活基本計画に基づいた住宅確保要配慮者への入居支援

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 安全安心で持続可能なインフラ施設を構築するため、計画的な補修整備と維持管理を行う
 - ・橋梁点検や幹線道路における路面性状調査は、委託業務の発注により実施中である。
 - ・インフラ施設の整備改良や維持管理の工事、また、新たな雪捨場整備は、発注計画に基づき実施中である。
 - ・秋田自動車道四車線化や成瀬ダム建設促進などの同盟会・要望活動をフルスペックで実施している。
- (2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくりを推進する
 - ・都市再生整備計画事業の実施状況は、再開発事業におけるB-1棟の施工不良案件により変更が生じている。
 - ・三枚橋地区区画整理事業の清算金事務を進めている。長寿命化事業により公園の施設整備工事を実施している。
 - ・再開発事業におけるB-1棟の施工不良により7月7日から工事がストップしていたが、是正工事方針が示された。
- (3) 住宅の質的向上を図る取り組みを推進し、住み続けたいくなる住環境整備を促進する
 - ・雪国よこて安全安心補助金と木造住宅耐震診断・改修補助金について周知し、申請受付を行っている。
 - ・市営住宅の改修や他部署からの依頼による営繕工事について、計画的に発注を行い事業推進を図っている。
 - ・市営住宅の指定管理を適切に実施するとともに、居住支援に向けた取り組みを継続して行っている。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 安全安心で持続可能なインフラ施設を構築するため、計画的な補修整備と維持管理を行う
 - ・橋梁点検や幹線道路における路面性状調査を降雪前に完了させ、次計画に反映させる。
 - ・10月上旬に雪対策連絡協議会を実施し、冬季降雪期に効果的な除排雪が実施できるよう備える。
 - ・秋田自動車道四車線化や成瀬ダム建設促進などについて、秋季の同盟会・要望活動を実施する。
- (2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくりを推進する
 - ・再開発事業とのスケジュール調整を図り、できるだけ都市再生整備計画事業を推進する。
 - ・引き続き、三枚橋地区区画整理事業の清算金事務と、長寿命化事業による公園の施設整備工事を実施する。
 - ・再開発事業におけるB-1棟の施工不良案件の解決に向け、引き続き再開発組合と連携して対応を行う。
- (3) 住宅の質的向上を図る取り組みを推進し、住み続けたいくなる住環境整備を促進する
 - ・引き続き、雪国よこて安全安心補助金と木造住宅耐震診断・改修補助金について周知し、次年度対応も検討する。
 - ・老朽化が著しい市営住宅について、用途廃止に向けた居住者への対応を行っていく。
 - ・引き続き、市営住宅の指定管理を適切に実施するとともに、居住支援に向けた取り組みを継続して行う。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 安全安心で持続可能なインフラ施設を構築するため、計画的な補修整備と維持管理を行う
 - ・橋梁点検や幹線道路における路面性状調査を完了し、調査結果を反映させた次年度以降の計画を策定した。
 - ・10月5日に雪対策連絡協議会を実施し降雪期の除排雪に備えるとともに、第4期総合雪対策基本計画を策定した。
 - ・秋田自動車道四車線化や成瀬ダム建設促進など、秋季の期成同盟会・要望活動をすべて対面で実施した。
- (2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくりを推進する
 - ・再開発事業との調整を行い、事業費の繰り越し措置を取ることにより都市再生整備計画事業の推進を図った。
 - ・三枚橋地区土地区画整理事業の清算金交付徴収事務と、長寿命化事業による公園の施設整備工事を実施した。
 - ・再開発事業における施工不良案件の解決に向け、再開発組合と連携して是正工事への対応を行っている。
- (3) 住宅の質的向上を図る取り組みを推進し、住み続けたいくなる住環境整備を促進する
 - ・雪国よこて安全安心住宅普及促進補助件数は120件。木造住宅耐震診断8件・改修補助金3件の実績数となった。
 - ・老朽市営住宅のうち山道住宅の空家9棟の用途廃止に向けた条例改正を行い、R6年度予算に解体費を計上した。
 - ・市営住宅の現指定管理者を今後5年間の指定管理者に指定した。居住支援に向けた取り組みを継続して行った。